

2012年 4月 10日

新宿区長 あて

法人名（特）あそびと文化のNPO

新宿子ども劇場

所在地 新宿区北山伏町2-17

ゆったり～の共同事務所

（フリガナ） ノリマツ ヨシミ

代表者氏名 乗松 好美

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	「ダルレのはなし」楽しみたい・学びたい・触れたい韓国
実施日時又は期間	2011年9月24日（土）～2012年3月20日（火・祝）
対象者の範囲及び人数	区内及び近隣地域の幼児から大人 のべ742名
事業内容	半年間にわたり、あそび、料理、伝統芸能などを通して、お隣の国韓国の文化に触れる。最後に韓国の劇団アートステージ・サンの舞台“ダルレの話”を鑑賞する
具体的な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> *伝統あそびの会 <ul style="list-style-type: none"> 9月24日 大久保スポーツプラザ 22名 ユンノリ・ペンイ等 10月22日大久保地域センター 19名 コンギ・韓国の絵本 *料理教室 <ul style="list-style-type: none"> 11月26日 西戸山生涯学習館 27人 チジミ・トッポギ 2月5日 柏木地域センター 24人 韓国のりまき・ホットク *ニューイヤー♥キッズ・ミュージアム <ul style="list-style-type: none"> 1月22日 牛込笹塚区民ホール 315人 伝統芸能鑑賞 *伝統芸能ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> 2月12日 新宿コズミックセンター 15人 チャングを習ってみよう *韓国文化院見学 <ul style="list-style-type: none"> 3月7日 韓国文化院 12人 韓国文化について *観劇「ダルレの話」 韓国児童劇団アートステージ・サン <ul style="list-style-type: none"> 3月20日 11:00と16:00 新宿文化センター 308名
事業の成果	新宿という土地柄、日頃、接する機会の多い韓国なのだが、半年間にわたる事業を通して韓国文化に対する理解度が高まった。助成事業ということで、NPO団体単独ではなしえない広報効果もあり、多くの団体の協力を得る事ができ、多方面からの文化芸術に対する周知がなされた。

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			142,957 円
	参加費・資料代等	料理教室 @500×16+300×6 ダルレの話@2500×308 託児@1000×9		788,800 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		500,000 円
	計			1,431,757 円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	166,947 円	伝統あそび会場 2000+5700・料理教室 1000 伝統芸能 9800 ダルレの話 71,325+4850+65300 作業用部屋代 5000 印刷 1972	
	宣伝費	91,284 円	チラシ紙代 23,614+7560+510 ダルレチラシ 44,800+14,800	
	リース費	0 円		
	消耗品費	20,130 円	プリンターインク 6,947+5,940+2,520 U S B 1510 袋 252+210 ノート・テープ 2,751	
	謝礼	473,020 円	伝統あそび@5000×2+@3000×1 料理教室@5,000×2+@3000×2 伝統芸能ワークショップ@30000+@3000×1 ダルレの話@30000×13+@3000×2 託児 15,020	
	人件費	100,000 円	伝統あそび@3000×2日×2回 助手@3000×5 料理教室@3000×2日×2回 助手@3000×4 伝統芸能@3000×2日 助手@3000×2見学会@3000×2人 ダルレの話@4000×2日×2名 スタッフ@3000×5	
	材料費	15,579 円	料理教室食材・トウモロコシ、にら 550 キムチ、チヂミ粉、煮干し、韓国かぼちゃ他 5503 油 507、わかめ 334、もち米、のり他 5010 タマゴ、牛肉他 3675	
	交通費	259,348 円	ダルレスタッフ交通費（韓国⇄日本 13人分） 259,348	
	その他諸経費	10,840 円	チラシ・DM送料 5740 運搬費 5100	
助成対象事業費（小計）		1,137,148 円		
余 剰 金		0 円		
助成対象外事業費		294,609 円	ダルレ謝礼 231,600 仕込み夕食 12,000 当日食費・ホテル代 45,350 お茶 5,659	
事業総額			1,431,757 円	

3 助成事業の成果と課題 3

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	ほぼ達成はできた。 最終事業である「ダルレの話」は動員 400 名を目標に掲げ、できる限りの活動はしたが、308 名の動員でとどまった。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	遊び・料理・伝統芸能・文化等を通して、韓国を身近に感じ、理解を深める事ができた。 チラシ配布等の協力機関、個人も増え、“文化”をキーワードとした当事業・当団体の理解者も増えた。
費用対効果は適正であったか。	適正であった。 講師を身近な方をお願いしたり、消耗品を工夫したりと支出の面でも努力をした。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	最終的には、韓国の優れた舞台「ダルレの話」を紹介し、多くの方と共有する事を目的としたのだが、非常に動員には苦戦した。内容が伝わりにくかった事と、上演日程の設定が問題だと考える。 また、新宿文化センター小ホールでは会場が狭く、舞台が見えない観客もでき、会場設定も今後の課題として残った。
理解者や支援者が広がったか。	半年間にわたって、色々な取り組みをした事により、各方面の協力をえる事ができた。 事業を通して、理解者・支援者は広がった。
事務局の執行体制は十分だったか。	ほぼ、滞りなく行う事ができた。 連絡先の事務所が留守の事が多く、問い合わせにこたえきれなかったことは反省点として残る。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	今回、助成金を得た事により、通常だと 1 ステージで行う鑑賞会を 2 ステージに拡大して取り組む事ができた。それにより、より多くの区民に鑑賞の機会を提供できた。 今後も安定的に機会提供ができるよう、規模や経費を考慮し活動を継続していく。 また、常に当 N P O のミッションの賛同者を募り、より充実した活動を地域で展開できるように努力する。
その他	

4 活動の成果

* 事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

★チラシ

- ・ 伝統あそびの会
- ・ 韓国料理教室
- ・ ニューイヤー♥キッズ・ミュージアム
- ・ 伝統芸能 韓国の打楽器“チャング”を習おう
- ・ ダルレのはなし

★資料

- ・ 伝統あそびの会
- ・ ニューイヤー♥キッズ・ミュージアム プログラム
- ・ 伝統芸能 “チャング” 口伝表

★機関紙“ふたば” 事業関連記事

- ・ 10月号…2P 事業告知・韓国伝統あそびの会報告
- ・ 11月号…7P 事務所の風景
- ・ 新年号…5P 韓国料理教室
- ・ 2月号…3P～5P ニューイヤー♥キッズ・ミュージアム
- ・ 3月号…6P 韓国料理教室
- ・ 4月号…3～4P ダルレの話

★ダルレの話 当日アンケート一覧